

2022年度 富士通健康保険組合決算のご案内

■決算の状況

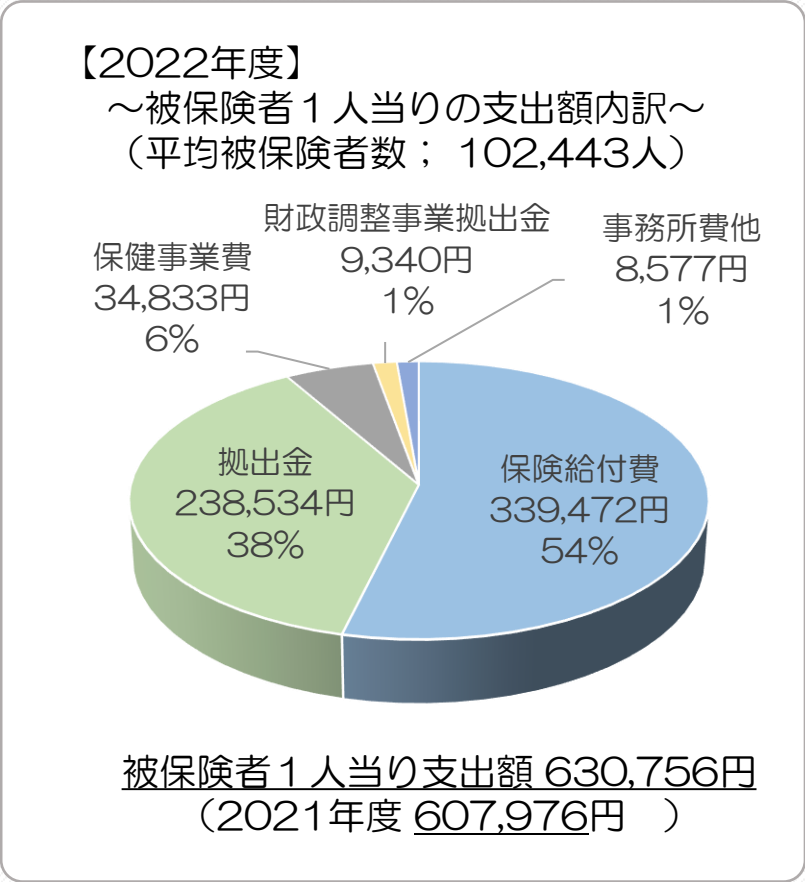
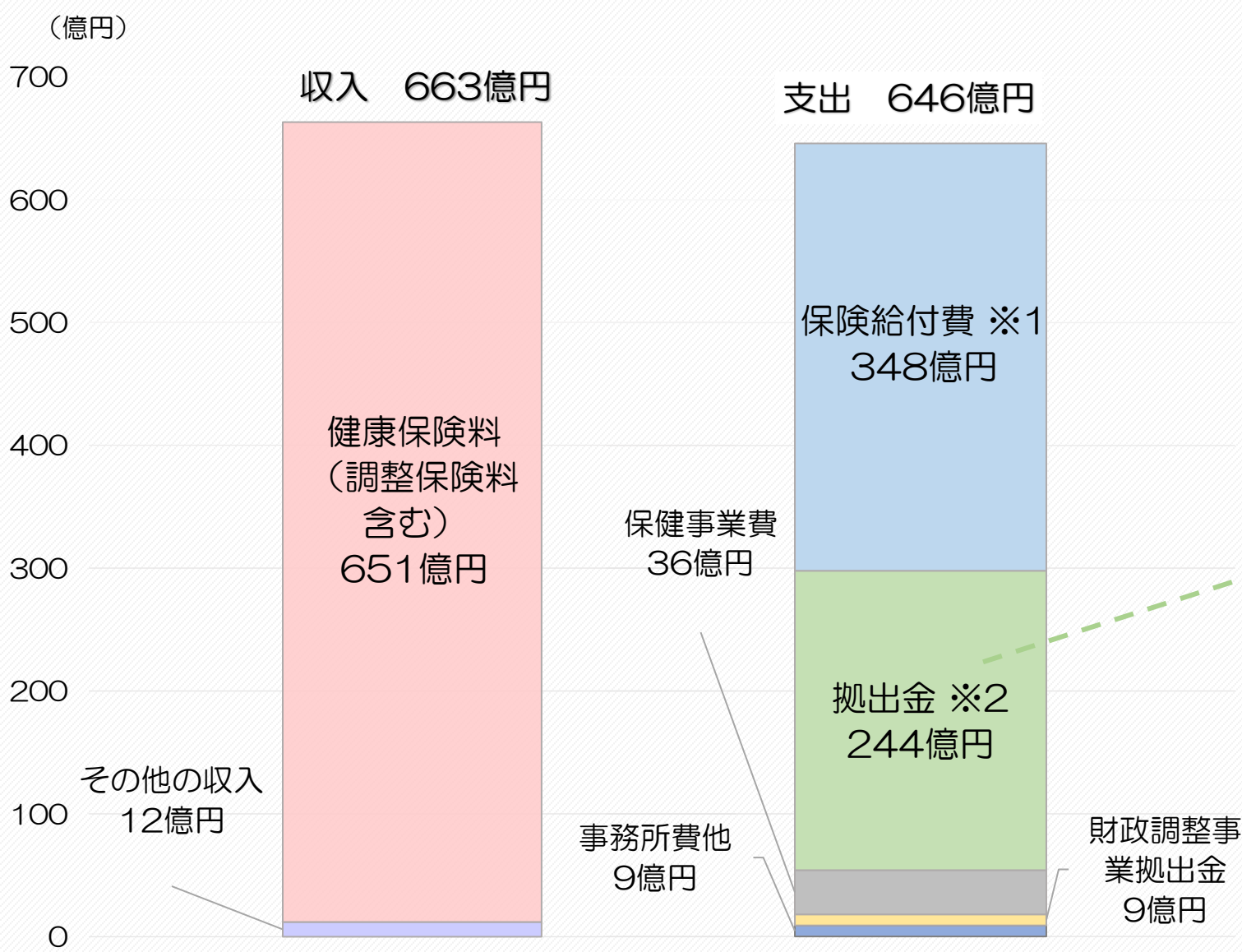
● 健康保険

2022年度決算は、収入663億円、支出646億円、収支差引17億円の黒字となりました。

健康保険料収入は651億円で、被保険者数の減少にともない前年度より25億円減となりました。支出については、全国の高齢者の医療費を支えるための拠出金が一時的に減少（前年度差▲16億円）したものの、保険給付費が前年より増加しました（+6億円）。2022年度はコロナ関連医療費（※）が給付費全体の12.7%を占める44億円となり、保険給付費が増加した要因の1つと考えられます。

（※ 治療費のほかPCR検査費用、関連疾病の治療費等含む）

収入：663億円
支出：646億円
収支差引残高 +17億円



～拠出金について～
2022年度は、計算の基礎となる2020年度の高齢者医療費が、コロナウイルス感染症流行の影響による医療機関への受診控えの影響で低く抑えられたこと等により一時的な減となりましたが、来年度以降は増加が見込まれます。

－前期高齢者納付金
2024年度より、各保険者の被保険者の報酬水準を加味した「総報酬割」が一部導入(1/3)されることが決定しており、当健保においても負担増となる見込みです。

● 介護保険

2022年度決算は、収入97億円、支出96億円、収支差引1億円の黒字となりました。2022年度は、介護納付金の増加に対応するため、料率を前年度差+0.8‰の17.6‰へ引き上げるとともに、介護準備金（※）の取り崩し（繰入）を行いました。

※法定の積立金

		(億円)
科 目		決算額
収 入	介護保険料	94
	繰入金	3
	収入合計	97
支 出	介護納付金他	96
	支出合計	96
収支差引		1